

令和4年度 千代田町立西小学校 学校評価一覧表

| 羅針盤 | | | | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 | 今後に向けての学校の考え | |
|---------|--|---|---|---|---------|---------|---------|----------|---------|--------------|---|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 保護者向け | 児童向け | 職員向け | 具体的数値目標 | 保護者 | 児童 | 職員 | | | | 総合 |
| 重点教育目標 | ○かかわる人に対して優しい気持ちをもち、困難があってもあきらめず、目標に向かって努力する姿勢を身に付けた児童が育っているか。 | お子さんは、相手の立場や気持ちを考えた親切な行動や言葉がけができる。 | 相手や友だちの気持ちを考えて、やさしい言葉がけや親切な行動を心掛けている。 | 子どもたちが相手の立場や気持ちを考えた親切な行動や言葉がけができるよう指導している。 | 80%以上 | 83 B | 91 A | 96 A | A | A | ・「みんなで作る、群馬県一素敵な小学校」を目指し、「ありがとう、ごめんね」と素直に言葉にできる大人と児童が増えるとよい。 ・場に合った言葉遣いができなかったり、タブレットに悪口をのせるようなこともあるので「相手の立場に立つて」行動してほしい。 | ・道徳の授業の様子や児童のノートの記述を、学級通信などを通して積極的に発信する。 ・学校で友達に喜んでもらった行動を、「帰りの会」で伝え合う。 ・よい行いができたことを家庭に伝える機会を設ける。 ・様々な場面で、適切な言葉遣いや対応ができるように体験型の授業を取り入れる。 |
| | | 学校は、学習や運動、行事などで子どもたちが目標を立て、それに向かって努力を続けるよう工夫して指導に当たっている。 | 学期初めや行事、授業のときに立てた目標に向かって、進んで学習や運動などに取り組み努力している。 | 子どもたちが目標に向かって主体的に取り組み、努力を続けられるよう指導・支援を工夫している。 | 80%以上 | 97 A | 89 B | 100 A | A | A | ・児童一人一人を大切に、丁寧に指導されていると思う。 ・指導は十分。子供たちの評価から、その年の目標を忘れないよう振り返り、気持ちを切り替えるときが必要。 | ・キャリアパスポートやチャレンジ手帳を活用して、目標を明確にし、取組への振り返りを行いながら達成感を味わえる機会を増やしていく。 ・結果だけではなく、努力の過程をしっかりと見取り、適切な言葉がけや励ましを行う。 |
| | | お子さんは、さまざまなことに対して、うまくいかないことがあってもあきらめず、粘り強く取り組んでいる。 | 学習や運動などで失敗したりうまくいかなかったりしてもあきらめずに取り組んでいる。 | 失敗しても困難があってもあきらめずに取り組めるような指導・支援をしている。 | 80%以上 | 66 C | 87 B | 100 A | B | A | ・先生方が児童の情報を共有しながら繰り返し支援されていると思う。 ・自己肯定感が低いと「どうせ、できない」とあきらめてしまうことが多くなく、満足感が得られず、何をやっても…のところがある。家庭でも学校でも、乗り越えたときの満足感を与えていければと思う。 ・自分ができるのはここまでと、目標のラインを低く設定して、本人は満足だかもっとこうすればいいのと思うことはある。 | ・学習や学校行事、漢字計算大会などの取り組みに向けて、自分なりの具体的な目標を設定させ、振り返りを行うことを通じて、成長を実感させる。 ・児童が最後まで粘り強く取り組んだことは、コメントや連絡帳などで、保護者に直接伝えていく。 ・自分の努力や成長を、本人や保護者が見てわかるようにし、家庭で認めてもらう機会を設ける。 |
| 確かな学力 | ○児童に望ましい家庭学習習慣が身についているか。 | 学校が「ちよだチャレンジウィーク」等を設定したり、「毎日の家庭学習」を配付したりすることで、子どもたちに読書や家庭学習が定着している。 | 「毎日の家庭学習」で示された時間、宿題や読書などにとりくんでいる。 | 宿題や自主学習、「ちよだチャレンジウィーク」等を活用して、毎日の家庭学習の定着に努めている。 | 80%以上 | 83 B | 87 B | 91 A | B | B | ・お仕事をされて、共働きのご家庭も多く「宿題をさせるのが大変」という声も伺います。学校との連携で保護者の方にもお子さんとの時間を大切に、頑張っていたきたい。 ・チャレンジウィークにだけ頑張ればいいと、宿題の他には家庭学習に取り組まない。 | ・国語・算数・音読の3点セットを基本とし、学年の目標時間に近づける宿題の出し方を工夫する。 ・ノート・タブレットなど、ICTを活用した自主学習の内容を工夫する。 ・よい家庭学習をしている児童を紹介・賞賛する場面を作り、たよりや掲示で周知していく。 ・朝行事や休み時間、授業での読書指導、読み聞かせ等による読書の習慣化を図る。 ・年に1回(高学年：1学期、中学年：2学期、低学年：3学期)親子で読書をする機会を設け、一言感想を書いてもらい、図書室に掲示し、図書便り等で発信する。学校からおすすめの本を紹介し、読書の機会を促す。 |
| | ○児童の実態を踏まえ、基礎基本の定着を目指した学習指導を行っているか。 | 資料の提示や発問の仕方等を工夫したり、教科担任制を取り入れたりするすることで、子どもたちにとって「わかりやすい授業」になっている。 | 学校の授業は分かりやすい。 | 資料の提示や発問の仕方等を工夫して、子どもたちにとって「わかりやすい授業」を行っている。 | 80%以上 | 97 A | 92 A | 95 A | A | A | ・タブレット導入等により、わかりやすい面、難しい面もあると思われる。実態を踏まえて、わかりやすい授業になっていると思う。 ・学習指導はきちんとされているが、分りにくかったり引っかけたままだった内容があっても、その点では家庭内で補足していく必要があるのが現状。 | ・ICTの効果的な活用を探索しながら、授業の質の向上を図る。 ・児童が主体的に取り組めるような課題づくりと振り返りを行うことで基礎基本の定着を図る。 ・教師の専門性を活かした教科担当制の推進。 |
| | ○特例校としての成果が出ているか。 | 英語にかかわる活動を入学前(1年生)から実施することが、英語への関心を高めることに役立っている。 | 英語の授業は楽しい。 | 特例校として1年生から外国語活動を実施することにより、子どもたちの英語に対する関心が高まっている。 | 80%以上 | 88 B | 87 B | 100 A | A | A | ・英語の授業を見させていただいた際に、大きな声で、楽しそうに授業を受けている児童の姿が印象的で、気持ちよかった。 ・積極的に英語を話そうとする姿勢を身に付けるために、低学年では「楽しさ」を追求した活動を重視する。 ・ALTと連携しながら、英語を話すことへの抵抗感の軽減を図る。 | ・発達段階に応じた柔軟性のある内容となるよう、指導計画の見直しを適宜図る(CanDoリストの活用)。 ・積極的に英語を話そうとする姿勢を身に付けるために、低学年では「楽しさ」を追求した活動を重視する。 ・ALTと連携しながら、英語を話すことへの抵抗感の軽減を図る。 |
| 豊かな心の育成 | ○児童に挨拶の習慣や適切な言葉遣い、規範意識が身についているか。 | お子さんは、気持ちのよい挨拶や返事を心掛け、丁寧な言葉遣いに気を付けている。 | 気持ちのよい挨拶や返事、「～です。」「～ます。」など丁寧な言葉遣いを心掛けている。 | 気持ちのよい挨拶や返事、丁寧な言葉遣いなどができるように指導している。 | 80%以上 | 78 C | 91 A | 83 B | B | B | ・朝の挨拶運動や読み聞かせ、休み時間など「ありがとうございます」「こんにちは」と先に挨拶してくれども気持ちが良い。 ・低・高学年に関わらず、大きな声で気持ち良い挨拶ができていく。 ・学校では挨拶を意識し、先生への返答きちんとできているようだが…家庭でのCの評価は家庭ではしていないのでしょうか？ ・言葉遣いが悪い。挨拶をしないことも多い。朝の交通当番で挨拶する子もそんなに多くない。 | ・学習規律を整えるとともに、返事や配布物の受け渡しなど相手を意識した挨拶や言葉遣いができるように指導を継続していく。 ・「あいさつ先手」の意味を確認し、道徳の授業などで気持ちのよい挨拶をするわけを考える時間を設定する。 ・物の受け渡し時に「お願いします」「ありがとうございます」等のやり取りを学校全体として意識して指導していく。 |
| | | お子さんは、時間やきまりを守ったり、役割を自覚した行動をとったりできる。 | 時間やきまりを守り、当番や仕事などの役割に責任をもって生活している。 | 子どもたちに時間やきまりを守ったり、自分の役割を果たしたりする姿勢が身につくよう指導している。 | 80%以上 | 71 C | 90 A | 91 A | B | B | ・各場面で時間や決まりを守るという行動は、家庭の影響もあるのかと思う。ご苦労ではありますが繰り返しの指導が必要だと思われる。 ・家族の一人として明確に役割分担をし、自分の立場、必要性を意識してほしい。 ・学校と家で差があり、手伝いをしない。「あとちょっと」「もう少ししたら」と時間を守れないなど、親としては評価が低い。 | ・時間やきまりを明確にすることで、教師も児童に一貫したルールの中で生活することを意識付ける。 ・係活動の仕事や児童とともに考え、一人一人が役割をもち、意識的に行動できるようにする。 ・学校と家庭が児童のよさを高めるために共通認識をもち、家庭科や生活などで学校内外での役割に気付き、行動できるようにする。 ・学力向上委員と連携し、2学期に提案があった学習規律の掲示物を活用しながら児童も教員も共通認識をもって、日々の生活で実践していく。 |
| | ○「いじめ」の未然防止に向けた温かい人間関係づくりを行っているか。 | 学校は、「いじめ」が起こらないような温かい人間関係づくりに取り組んでいる。 | 先生は、「いじめ」が起こらないように、みんなのことをよく見たり、声をかけたりしている。 | 「いじめ」が起きないような温かい人間関係の構築を心掛けるとともに、アンケートや日常の観察を通していじめの未然防止、早期発見・解消に努めている。 | 90%以上 | 90 A | 92 A | 100 A | A | B | ・児童の「小さな声」を大切にし、また相互の気持ちをよく聞きながら、大人になったときの人間形成に本当によく取り組まれていると思う。 ・先生の不親切な対応によって傷ついてしまった子供の話を聞いた。担任だけでなく先生達の共通理解のもとで、何気ない言葉かけ、温かな指導で子供の心の安定につなげていただけたらありがたい。 ・早期発見・解消をお願いしたい。どのようなことが「いじめ」になるのか、つながるのか、きちんと理解し、それらをしない子供になってほしい。 | ・「生活アンケート」や日々の観察から、児童の小さな変化を見逃さず、職員間で情報を共有しながらいじめの早期発見、対応に努めていく。 ・「SOSの出し方」指導等、各機関から発出されている資料の有効活用しながら、児童自ら助けを求めやすい環境を整えていく。 ・情報モラル、インターネットリテラシーを身に付けるために、具体的な事案をもとに児童に考えさせると共に、職員自ら児童の取り巻く環境を把握し、対応、対策を継続して研修していく。 |

令和4年度 千代田町立西小学校 学校評価一覧表

| 羅針盤 | | | | | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 | 今後に向けての学校の考え |
|---------|---|---|--|---|---------|---------|---------|----------|----|---------|--|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 保護者向け | 児童向け | 職員向け | 具体的数値目標 | 保護者 | 児童 | 職員 | 総合 | | | |
| 健康体力づくり | ○児童に健康の保持を意識した生活習慣が身についているか。 | お子さんは、食事や睡眠、ゲームの時間などについて、規則正しい生活習慣が身についている。 | あなたは、早寝早起きや食事、ゲームの時間などについて、規則正しい生活を心掛けている。 | 食事や睡眠など、規則正しい生活が身に付くように指導している。 | 80%以上 | 70 C | 80 B | 95 A | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・食事や睡眠、またゲームの時間などは、本来ならご家庭でのご指導だと思いますが、学校から発信することで協力が得られるかと思えます。 ・ゲームをする時間も規則を決めてメリハリをつけ、自分の中で納得する必要があるのではないかと。 ・家庭によって差が出るものため最低限のルールを守れるように家庭で決めることが必要。家庭によって事情が異なり、一律同じ時間で動くことは難しいが、その家庭ごとの流れの中でルールに基づいて動けるようになってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳や学活、保健などの授業で規則正しい生活習慣の重要性を考えさせる。 ・保護者には授業参観時に啓発していく。児童のタブレットの待ち受け画面に、取り組ませたい内容（タブレットを使用する上での注意事項や学習するときの姿勢など）を設定させ、児童に意識させる。 ・児童に自分の生活を振り返る機会を設けて、自分の生活を見直すようにする。 ・今年めあてとして生活について目標を設定させる。第1回の方策を引き続き実施する ・家庭科の授業でも、規則正しい生活習慣の重要性を考えさせる。 ・衛生検査の時に、生活習慣振り返りシートなどを書かせ、毎月、自身の生活を振り返る機会を設ける。 |
| | ○体力のある児童が育っているか。 | お子さんは、体育の授業や休み時間、帰宅後や休日に積極的に体を動かし、体力をつけるようにしている。 | 体育の授業や休み時間、帰宅後や休日に積極的に体を動かしている。 | 体育の授業や休み時間など、子どもたちが体を動かす時間を確保し、体力向上に努めている。 | 80%以上 | 74 C | 81 B | 100 A | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・わずかな休み時間でも校庭で元気いっぱい体を使って遊んでいる姿に、地域の人が元気をいただいている。 ・スポーツクラブなどに参加している子供たちは体を動かすことをやっているが、そうでない子供たちは学校での運動量のみとなってしまうので、登下校のみでもしっかり歩いてほしい。 ・帰宅後や休日に体を動かすことはなかなかできていない。親も一緒に外に出たり、広い公園に連れて行ったりしないとなかなか動かない子もいると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも適度な運動を連で行えるように、家庭で行える運動啓発動画を子どもたちに紹介し、保護者にも通信等で呼びかけ周知する。 ・運動会、なわとび大会等の行事を利用し、学年間、クラス間での競争や協力ができる活動を積極的に取り入れ、児童の意欲的な態度を養う。 ・保健の授業を中心として、基本的な生活習慣の重要性を実生活に当てはめながら考える活動を取り入れる。 ・運動も自主勉強の一つであることを児童に伝え、自主学習で運動をさせる。 ・タブレットを活用して、自分の運動の様子を目に見える形で残し、なわとび強化月間や運動会などの学校行事に向けて意欲的な取組になるよう家庭にも協力を働きかける。 ・リズム縄跳び等を家庭に配付し、活用を図る。 ・帰宅後や休日の運動につなげるように、なわとびなどの宿題を課す。 ・週に1度はクラスレクの時間を設け、自ら運動をする集団づくりを進める。 |
| 安全教育の推進 | ○緊急事態や災害が発生したとき、児童が自分自身で身を守る意識が高まっているか。 | 学校は、「不審者対応訓練」「避難訓練」などを通して、子どもたちの安全意識を高める指導に取り組んでいる。 | 「不審者対応訓練」や「避難訓練」を行うことで、もしものとき安全を考えて行動することが出来る。 | 「防犯訓練・避難訓練」を通して、子どもたちの「自分で自分の身を守る」意識を高める指導を行っている。 | 80%以上 | 95 A | 93 A | 100 A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・家で地震があったときに机の下に隠れるなどの行動をする様子から、学校での訓練が役立っているのが分かる。これからも継続して意識を高めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険を予測した視点を持ち、毎月の安全点検を行うと共に整備、修繕等適切に行っていく。 ・危機管理マニュアルの共通理解と活用。 ・「自助」の意識を高めるための、避難訓練の実施方法の工夫と改善。 |
| | ○適切な交通安全指導・対策がなされているか。 | 学校は、事故ゼロを目指し、保護者や地域と連携した交通安全指導や、登下校時の安全等についての指導をしている。 | 交通事故にあわないように、安全に気をつけて、登校している。 | 事故ゼロを目指して、登下校時の交通安全や危険回避の意識について指導している。 | 80%以上 | 90 A | 96 A | 100 A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや交通指導の方の協力も得て、よくご指導されている。特に朝の通学班は、班長さんを中心に整列をして登校、帰日もルールを守って帰宅する姿が見受けられる。 ・朝の忙しい時間に、先生方やPTAの交通指導、ありがたいと思う。子供たちの交通安全の気持ちも高まるのではないかと。 ・登下校時の交通ルールがしっかり守られている。 ・班長さんを中心に安全に登校できている班は多い。個人や班に指導している様子も見受けられ、定着できるようこまめに指導を続けてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校外児童会を中心とした、登下校時の安全確保のための啓発活動の充実。 ・定期的な通学路点検の実施による危険箇所早期発見と、町と連携した対応。 |
| 信頼される学校 | ○保護者から理解を得るための情報提供・対応が適切に行われているか。 | 学校・学年・学級だよりや連絡帳等により、学校のことやお子さんの様子がわかる。 | 学年・学級だよりや連絡帳等により、学校・学級や子どもたちのことを分かりやすく伝えている。 | 学年・学級だよりや連絡帳等により、学校・学級や子どもたちのことを分かりやすく伝えている。 | 80%以上 | 93 A | / | 95 A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方は大変こまめに学校、学級、児童一人一人の様子をご家庭に知らせており、保護者はありがたいと思う。 ・引き続きよろしくお願ひしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も連絡帳や通信で学校行事や学年、学級の取組を発信すると共に、ICTを活用しながら、より学校生活の様子が家庭に届けられる用に工夫していく。 ・西小HPの活用と充実。 |
| | ○お子さんの様子などについて相談したいことがあるとき、連絡がとりやすい。 | お子さんの様子などについて相談したいことがあるとき、連絡がとりやすい。 | 心配なことや悩み事があるとき、先生に相談しやすい。（先生は、相談にのってくれる。） | 保護者や子どもにとって相談しやすい人間関係作りを行っている。 | 80%以上 | 94 A | 87 B | 100 A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・時間外への対応もあったりと心労もおおひと思ひますが、まずは先生方の心と体の元気が一番ですので、町の未来の子供たち育成のため、共に見守りをさせていただきます。 ・引き続き連絡をよろしくお願ひしたい。問題ないように見えても児童の評価が少し低めであるため、相談しにくい理由が何かしらある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や保護者面談など、直接お互いの顔を合わせて話し合う機会を多く設けていく。 ・内容、必要性に応じてこまめに保護者と連絡を取り合い、児童にとってよりよい指導を一緒に考えていく。 |